

教 員 選 考 調 書

ふりがな 氏 名	こうべたろう 神戸太郎	本籍地	兵庫県
生年月日 性 別	1970年 5月20日 ■男 □女	現住所 (国内住所)	神戸市灘区鶴甲1-1-1
就こうとする職名	教授		
専任兼任の別	専任	学位称号	博士(工学)
担当専攻 講座 教育研究分野名	機械工学専攻 材料物理講座 材料物性学	研究者番号	1234567
略歴(学歴, 職歴, 教育歴, 所属機関, 学会及び社会における活動, 受賞)			
年 月	(学 歴)		
1988年 3月	兵庫県立鶴甲高等学校 卒業		
1988年 4月	六甲大学工学部機械工学科 入学		
1992年 3月	同 上 卒業		
1992年 4月	六甲大学大学院工学研究科博士課程前期課程機械工学専攻 入学		
1994年 3月	同 上 修了		
1994年 4月	六甲大学大学院工学研究科博士課程後期課程機械工学専攻 進学		
1997年 3月	同 上 修了		
1997年 3月	博士(工学)(六甲大学)(博い第111号)		
年 月	(職 歴)		
1997年 4月	㈱山菱電気生産技術研究所 社員(1999年3月15日まで)		
1999年 4月	六甲大学工学部機械工学科 助手		
2002年 4月	六甲大学工学部機械工学科 講師		
2003年 4月	米国カリフォルニア大学客員研究員 (山田海外留学奨励会第12期奨学生) (2004年3月31日まで)		
2004年 4月	神戸大学工学部機械工学科 講師		
2005年 4月	神戸大学工学部機械工学科 助教授		
2007年 4月	神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻 准教授 (現在に至る)		

(教育歴, 過去5年間の担当講義科目)						
勤務先	職名	開講部局・専攻又は学科等の名称	担当授業科目名	対象学年	担当総時間数(年当たり)	備考
六甲大学	非常勤講師	工学部・機械工学科	〇〇演習	学部2年	45	2008～2012年 前期
神戸大学	准教授	工学部・機械工学科	〇〇学I	学部3年	22.5	2009～2012年 後期
神戸大学	准教授	工学研究科・機械工学専攻	〇〇特論	前期1年	22.5	2009～2012年 後期
神戸大学	准教授	工学研究科・機械工学専攻	〇〇学	後期1年	22.5	2010～2012年 前期
神戸大学	准教授	工学研究科・機械工学専攻	特定研究	後期課程	〇〇	2010～2012年 通年
年 月	(所属機関における過去5年間の活動)					
2009年 4月	教学委員会委員(2010年3月まで)					
2011年 4月	工学系研究科等衛生管理専門委員会委員(2012年3月まで)					
2012年 4月	学生委員会委員 (現在に至る)					
年 月	(学会及び社会における活動)					
1990年 5月	日本構造学会 学生会員(1992年3月まで)					
1992年 4月	日本構造学会 正会員 (現在に至る)					
1999年 5月	日本生体学会骨再生部門委員会委員(2001年3月まで)					
2002年 5月	日本構造学会分子動力学法に関する調査研究分科会主査(2003年3月まで)					
2004年 7月	日本構造学会「欧州構造基準調査団」団長					
2004年 9月	米国機械学会(ASME)正員 (現在に至る)					
2005年 8月	ASME 夏期講演会, 材料不安定に関するセッションのオーガナイザー					
2007年 4月	市民講座「生体構造の不思議」講師(主催:神戸市)					
2007年 6月	日本生体学会理事(2009年5月まで)					
2008年 10月	Proceeding of the International Symposium on Structure のエディター (現在に至る)					
年 月	(受賞)					
1999年 9月	日本構造学会奨励賞「〇〇〇〇に関する研究」(日本構造学会)					
2004年 10月	日本生体学会論文賞受賞 (日本生体学会)					
2012年 4月	構造物生産革新業績賞受賞 ((財)生産性振興協会)					

教 育 研 究 上 の 業 績

(著 書)

1. 神戸太郎
複合材の界面不安定現象の研究
六甲大学博士論文, 全 120p. (1997)
<http://www.lib.rokko-u.ac.jp/repository/D1001088>
2. 神戸太郎
生体力学の基礎
山下出版,全 156p. (2002)
3. 山田太郎, 神戸太郎
複合材の強度評価, 学術出版, 2007 年
(分担執筆) 第 4, 5, 6 章 pp.xxx-xxx を担当

(学 術 論 文)

※ Web of Science に登録されている学術誌等に掲載されている論文等

(a. 学会誌, 専門誌等に掲載された論文)

1. 山田実, 神戸太郎
円孔列を有する帯板の引張り
日本構造論文集 A 編, Vol.49, No.443, pp.863-868 (1996)
2. ※ T. Kobe, M. Shimoi, 他 3 名
Cyclic Internal Pressure Tests of a Force-Cooled Pipe-In-Conduit Superconductor for a Fusion Application
IEEE Trans. Magnetics, Vol.24, no.2, pp.1149-1152 (1997)
3. 神戸太郎, 北山浩, 下村恭之
界面あるいは表面不均質変形のフラクタル特性
材料, Vol41, No.470, pp.1611-1615 (1999)
- 3'. T. Kobe, H. Kitayama, K. Shimomura
Fractal properties of interfacial and surface heterogeneity
Material, Vol. 41, pp.E1001-E1010(1999)
(3 の英訳版)
4. H. Kitamura, A. Nakayama, Z. Nakamura, T. Kobe, 他 4 名
Molecular Dynamics Study of Crack Processes Associated with Dislocation Nucleated at the Tip
J. Appl. Polymer Sci., vol.32, No.1, pp.263-269 (2003)
5. ※ H. Kitamura, A. Nakayama, Z. Nakamura, T. Kobe, 他 4 名
Dislocation Nucleated at the Tip
Appl. Phys. Lett., vol.100, pp.120301, 全 4p. (2011)
6. T. Kobe, A. Nakayama, 他 2 名
Molecular Dynamics Study of Crack Processes Associated with Dislocation Nucleated at the Tip(2)
J. Appl. Polymer Sci., 印刷中 (doi:10.1021/jo0349227)

注：各項目内でページをまたぐ場合は横罫線は入れないでください。

(b. 国際会議等の Proceedings に掲載された論文)

1. T. Morie, T. Kobe, 他 6 名
Experimental Study for Steel-Carbon Bond of Circular Plate Proc. of 11th Symp. on Nuclear Engineering, Vol.2, pp.937-940 (1996)
2. T. Kobe, H. Kitayama, T. Kubota
Plastic Instability of Cylindrical Shell in Contact with Rigid Sphere Proc. of 33rd Japan Cong. on Biomechanical Research, pp.215-220 (1998)
3. H. Kitamura, T. Nakayama, T. Kobe
Growth of Interfacial Inhomogeneous Deformation in Thin Laminated Material Proc. of 38th Int. Conf. on Production Research, C. Teodosiu et al, eds., pp.261-269(2006)
4. V. Vitek, C. B. Besant, T. Kobe
Local Atomic Level Elastic Module of Surface Regions Proc. of Int. Symp. on Flexible Automation, (Accepted for publication), (2009)

(c. 国内会議の論文集)

1. 神戸太郎, 六甲花子
構造体の効率的設計法に関する研究
日本構造学会講演会論文集, 18 号, pp.5-21, (2005)

(d. 研究機関の紀要, 報告等に掲載された論文)

1. H. Kitayama, T. Kubota, T. Kobe
Plastic Stability of Cylindrical Shell Subjected to Pressure
神戸大学大学院自然科学研究科紀要 Vol. 11-B, pp.215-220 (2006)
2. 神戸太郎
疲労破壊に及ぼす環境温度と湿度
生産研究, Vol. 240, pp.140-147 (2007)
3. 神戸太郎
生体の微視的応答に関する研究
生体科学研究所報告, No.12, pp.35-45 (2008)

(学 術 報 告 等)

1. 神戸太郎, 鶴甲有美
生体の再構築に関する最近の研究動向
日本生体力学学会論文集, Vol. 32, No.430, pp.12-36 (2005)
(解説論文)
2. 神戸太郎
構造解析の教育法について
日本構造学会誌, Vol.43, No.230, pp.30-38 (2006)
(展望記事)

3. 神戸太郎, 鶴田甲士郎
骨の再構築の力学的モデル
日本機械学会誌, Vol.53, No.456, pp.46-57(2007)
(招待論文)

4. 神戸太郎
数値生体力学入門
日本生体学会誌, Vol.35, No.8, pp.82-90 (2008)

(上記以外に 5 編)

(学 術 講 演)

1. 神戸太郎, 下町英治, 他 2 名
金属結晶体の非弾性応答の分子動力学シミュレーション
日本機械学会関西支部, 第 65 期総会講演会(1993)

2. 神戸太郎
LSI パッケージの発生と進展
日本機械学会, 材料力学講演会(2006)
(基調講演)

3. 神戸太郎
積層複合材の二軸引張り下における界面あれの成長
日本機械学会第 68 期, 全国大会講演会(2007)
(招待講演)

4. 北山浩, 中山恭之, 神戸太郎
ウェーブレット解析のすすめ
第 14 回 NCP 研究会・機械の強度と形態研究会シンポジウム(2008)

5. T. Kobe, Y. Toyama
Control of material characteristics in emulsion by crystallization 2nd Int. Symp. on Bio Materials (2008)
(Keynote lecture)

6. 神戸太郎
界面強度と複合材の最終強度の相関
日本航空宇宙学会通常総会講演会(2008)
(特別講演)

(上記以外に 45 編)

(作 品)

作品の名称	発表年	作品の発表・設置場所	全発表者名及び全製作者名	備考
1. 神戸市迎賓館 (基本設計)	2005 年	神戸市	<u>神戸太郎</u> , 灘 光男	
2. 西宮市産業会館 (基本設計)	2008 年	西宮市	<u>神戸太郎</u> , 灘 光男	

			他 3 名	
(上記以外に 5 件)				
(知的所有権 (特許・実用新案等))				
出願年	分類	出願番号	発明の名称	発明者
1992 年	実用新案 登録済	実願 H4-10066	振動検出器(実開 H5-11111, <u>登録 33333 号</u>)	<u>神戸太郎</u>
2006 年	特許 登録済	特願 2006-1122	つりあい試験機軸受け(<u>登録 45555 号</u>)	<u>神戸太郎</u> , <u>山田次郎</u>
2009 年	特許	特願 2009-11000	つりあい試験機 (特開 2010-11111)	<u>神戸太郎</u> , <u>山田次郎</u> , 他 2 名
2010 年	特許 (PCT)	特願 2010-12344	つりあいの試験方法 (PCT/JP2010/121212, 特表 2011-122334)	<u>神戸太郎</u> , <u>山田次郎</u>
2012 年	特許	特願 2012-11000	未公開特許 (出願日: 2012 年 3 月 15 日) (上記以外に 5 件、うち登録済 2 件)	<u>神戸太郎</u> , 他 3 名

(研究費)			
(科学研究費補助金)			
研究期間 (年度)	分類	研究課題	直接経費 (千円)
2002-2003 年	特別研究員奨励費	不つりあい試験機軸受けの研究(代表)	2,000
2004-2008 年	奨励研究(A)	ふれまわり振動検出器の製作に関する研究 (代表)	950
2007-2009 年	基盤研究(A)	振動検出器製造装置の改善に関する研究 (分担)	50,000 (0)
2010-2013 年	基盤研究(B)	構造体の微視的応答と巨視的応答に関する 研究(代表)	15,800
2012-2014 年	挑戦的萌芽研究	構造体形成過程の新規分析法 (分担)	2,700 (1,400)
(共同研究)			
研究期間 (年度)	共同研究先の名称	研究課題	額(千円)
2006 年	(株)神戸製鋼所	骨の再構築に関する基礎研究(代表)	20,000
2008-2009 年	三菱電機(株)	しわ発生限度図の構築とその応用(分担)	(5,000)

2010-2011 年	兵庫県警	骨構造分析に関する研究(代表)	0
(受 託 研 究)			
研究期間 (年度)	受託先の名称	研 究 課 題	額(千円)
2005-2008 年	独立行政法人 科学技術振興機構	ポリマーのメゾメカニカルモデルの研究 (代表)	20,000
2008 年	(財)神戸高度生産 技術研究所	神戸生産ナノクラスター(分担)	(15,000)
(公 的 研 究 費)			
研究期間 (年度)	財団等の名称	研 究 課 題	額(千円)
		該当なし	
(奨 学 寄 附 金)			
年度	寄附元の名称	研 究 課 題	額(千円)
2009 年	オムロン(株)	神戸太郎准教授に対する研究助成(代表)	500
2011 年	住友ゴム工業(株)	生体力学に関する研究助成 (代表)	1,000

別紙 記入例

論文等	タイトル	概略説明
1 (学術論文 a-1)	円孔列を有する帯板の引張り	筆頭著者でない場合： 本研究では、・・・を明らかにした。 本研究では、・・・を担当した。
2 (学術論文 b-2)	Plastic Instability of Cylindrical Shell in Contact with Rigid Sphere	筆頭著者の場合： 本研究では、・・・が明らかとなった。 本研究では、筆頭著者として・・・を担当した。
3 (学術論文 c-1)	構造体の効率的設計法に関する研究	
4 (学術論文 d-3)	生体の微視的応答に関する研究	

論文等の略語の説明

Adv. Mater. = Advanced Materials

Anal. Bioanal. Chem. = Analytical and Bioanalytical Chemistry

Chem. Lett. = Chemistry Letters

Denki Kagaku = 「電気化学および工業物理化学」の英文名(～1998年)

Electrochemistry = 「電気化学および工業物理化学」の英文名(1999年～)

Electrochim. Acta = Electrochimica Acta

J. Am. Chem. Soc. = Journal of the American Chemical Society

J. Fluorine Chem. = Journal of Fluorine Chemistry

J. Mater. Chem. = Journal of Materials Chemistry

Opt. Express = Optics Express

Opt. Mater. = Optical Materials

Trans. MRSJ = Transactions of the Materials Research Society of Japan